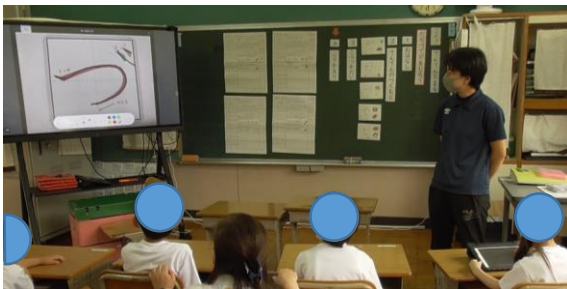
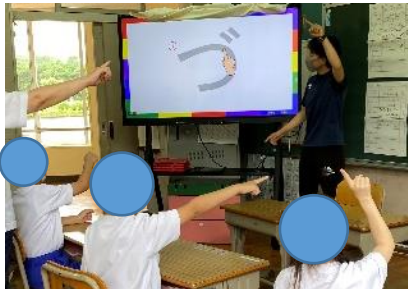


わくわくドキドキタブレット 実践報告書

小学部 1 年	教科等：	国語科	単元計画
実践報告テーマ(簡潔に)			第1時 てんとまとまるのつくもじ
濁音半濁音の読み書きを学習することで、清音と同様に日常生活で活用できるようにすることをねらいとする。			第2時 がぎぐげごをしよう
単元名			てんとまとまる
実践のねらい (箇条書き)			・濁音半濁音の読み書きができる。 ・日常生活で平仮名の読み書きを活用することができる。
授業の展開(簡潔に) ※動画教材や ICT を活用した部分には「★」印をつける			
導入	・読み聞かせを行い、濁音の付く言葉をきっかけに学習に入る。 ★濁音半濁音の歌を歌う。(動画を流す) →学習に親しみやすくする。		
展開	・濁点半濁点の付く文字について確認する。 →文字に濁点半濁点シールを貼り、イラストに合う言葉を完成させる。 ★動画に合わせて空書きし、書き順の確認をする。 ★個別学習を行う。(プリント、タブレット)		
まとめ	★振り返りとして、一人ずつ電子黒板に学習した文字を書き、読み方と書き順の確認をする。 ・振り返り(評価)を行う。		
動画教材や ICT の活用のポイント(効果と児童生徒の反応)			
【写真】【ポイント解説】			
・見たい物を大きく映すことができ、全員で共有することができた。 ・平仮名アプリ等を個別の実態に合った学習を進めることができた。			
  			
実践報告のまとめ			
・大きい画面に映すことで、児童も見やすかったと思う。 ・タブレットに書いた物を映して、児童の学習を共有することができた。 ・児童が電子黒板いっぱいに文字を書くことで、身体全体を使って学習を進めることができた。 ・タブレットに学習アプリを入れておくことで、隙間時間の効果的な学習につなげることができる。			